

西伊豆健育会病院 医事課 山本孝至

功 績 医事課の山本はCOVID-19の感染防止に早期から取り組み、病院の安全性を高め、地域の感染拡大を阻止し、院内スタッフと地域にも安心を提供した功績。

推 薦 者 田中 沙由里

推 薦 理 由 今回、医事課の山本は、最新情報の収集とこれまでの経験活かしてCOVID-19の感染防止に、積極的に取り組んでくれました。未知のウイルスとの闘いは、職員が一丸となって立ち向かう必要がありました。その中心となって皆を先導してくれた山本を理事長賞に推薦いたします。

内 容

当院では3月からCOVID-19の対策を講じてきました。当初はインフルエンザ対応を参考に面会制限をしていましたが、COVID-19の感染拡大を防止する為には、3密（密接・密室・密閉）を避けることが最重要となり、更には4月初旬に当該地域にも陽性患者が発生し、COVID-19疑い患者の受診が予想され、医事課の山本孝至は次のことを提案し段階的に且つ迅速に取り組みました。

- ①外来患者対応：発熱、上気道症状の有無の確認、車待機のルール作りおよび対応
- ②面会コーナー：全患者体温測定、付添者・業者の入り口管理、スカイプによる面会
- ③電話診療：外来慢性疾患患者の電話再診のルール作り
- ④外来窓口：シールド（ビニール製）設置
- ⑤院内清掃：分担決め、毎朝・毎昼放送

最前線で診療にあたる医師、看護師も大変ですが、実は患者さんに最初に接触する医事課の職員も感染という大きなリスクを背負います。そこで、山本は上記事項について提案し、細かい対応ルールを作りました。山本は入職19年目の医事課内では中心的な存在です。これまでの経験を活かし、事務員として医師と看護師をサポートする体制を整備しながら、自分達も感染しないことを第一目標としました。

実際に陽性患者さん（後の検査で判明）が受診しましたが、車で待機して頂き、保険証確認は車の窓越しに写真撮影を実施後、医師に引き継ぎました。医師はCOVID-19の感染を疑い保健所に連絡し、下車することなく所定の病院に受診し入院となりました。検査結果を知った時には、当院にも陽性患者さんが受診するのだと恐怖感を覚え、山本は改めて気を引き締めて対応するよう医事課スタッフに伝えました。

現在、COVID-19の院内感染が発生することなく経過しています。患者さんやご家族からは、徹底した感染対策に「そんなことできるか!」と、怒鳴られることもありました。しかし、山本は事務員と言っても病院の医療職の一人として、毅然とした態度で患者さんに接し、私達医事課職員の模範となって感染対策の重要性を示してくれています。